



独立行政法人
大学改革支援・学位授与機構
National Institution for Academic Degrees and Quality Enhancement of Higher Education

機構ニュース

Vol.185 2018 October

今月の記事

Top News

機構認定の教育施設（各省庁大学校）の課程修了者への学位授与

○22人に修士の学位を授与 一大学院修士課程相当の課程修了者一 ……………1

○6人に博士の学位を授与 一大学院博士課程相当の課程修了者一 ……………1

○平成30年3月認定課程修了者等に係る学位記伝達式を開催 ……………2

学位授与事業

短期大学・高等専門学校卒業生等を対象とする単位積み上げ型の学位授与関係

認定専攻科に係る教育の実施状況等の審査について

○平成31年度に実施する教育の実施状況等の審査 ……………3

特例適用専攻科に係る教育の実施状況等の審査について

○平成31年度に実施する教育の実施状況等の審査 ……………4

機構認定の教育施設（各省庁大学校）の課程修了者への学位授与関係

教育の実施状況等の審査について

○平成31年度に実施する教育の実施状況等の審査 ……………6

評価事業

申請状況について

○平成31年度認証評価の申請状況について ……………7

○平成31年度大学機関別選択評価の申請状況について ……………7

○平成31年度選択的評価事項（高等専門学校）に係る評価の申請状況について ……………7

質保証連携

質保証人材育成

○「平成30年度大学等の質保証に関する機構職員研修」を開催 ……………8

国内外の質保証機関等との連携

○「キャンパス・アジア」モニタリング+にかかる日中韓会合の開催 ……………9

主要行事日程

○Schedule（10月～12月） ……………10

TOP NEWS

■機構認定の教育施設（各省庁大学校）の課程修了者への学位授与

○22人に修士の学位を授与 —大学院修士課程相当の課程修了者—

平成29年3月及び平成30年3月・4月に防衛大学校理工学研究科（前期課程）、同校総合安全保障研究科（前期課程）、水産大学校水産学研究科、国立看護大学校研究課程部看護学研究科（前期課程）及び職業能力開発総合大学校長期養成課程職業能力開発研究学域を修了した修士の学位授与申請者に対して、社会科学、看護学・保健衛生学・鍼灸学、工学・芸術工学及び水産学の各専門委員会において、審査（学位論文及び口頭試問）が行われました。

この審査結果に基づき、8月24日（金）開催の学位審査会において、22人に対して学位を授与することを決定しました。

<修士の学位授与者数>

認定課程名	専攻分野	授与者数（人）
防衛大学校理工学研究科（前期課程）	工 学	1
防衛大学校総合安全保障研究科（前期課程）	安全保障学	1
水産大学校水産学研究科	水 産 学	7
国立看護大学校研究課程部看護学研究科（前期課程）	看 護 学	1
職業能力開発総合大学校長期養成課程 職業能力開発研究学域	生 産 工 学	12
合 計		22

○6人に博士の学位を授与 —大学院博士課程相当の課程修了者—

平成29年3月及び平成30年3月に防衛大学校理工学研究科（後期課程）及び同校総合安全保障研究科（後期課程）を修了した博士の学位授与申請者に対して、社会科学、理学及び工学・芸術工学の各専門委員会において、審査（学位論文及び口頭試問）が行われました。

この審査結果に基づき、8月24日（金）開催の学位審査会において、6人に対して学位を授与することを決定しました。

<博士の学位授与者数>

認定課程名	専攻分野	授与者数（人）
防衛大学校理工学研究科（後期課程）	理 学	1
	工 学	4
防衛大学校総合安全保障研究科（後期課程）	安全保障学	1
合 計		6

○平成 30 年 3 月認定課程修了者等に係る学位記伝達式を開催

当機構は、平成 29 年 3 月及び平成 30 年 3 月・4 月に防衛大学校、水産大学校、国立看護大学校及び職業能力開発総合大学校の大学院に相当する教育課程を修了した者のうち、当機構における審査(学位論文及び口頭試問)を受け、合格した修士 22 名、博士 6 名に対して、9 月 7 日(金)千代田区一ツ橋の当機構竹橋オフィスにおいて、学位記伝達式を開催しました。

伝達式では、各関係者列席のもと、各大学校の代表者へ学位記が伝達され、福田機構長から「当機構としても、学位の質を保証し、学位の国際的な通用性が担保するよう引き続き努めるとともに、学位を授与された方々の今後の活躍を祈念したい。」の挨拶により伝達式はしめくくられました。

また、伝達式終了後、講評が行われ、研究開発部の教員との意見交換が行われました。



平成 30 年度学位記伝達式

学位授与事業

短期大学・高等専門学校卒業者等を対象とする単位積み上げ型の学位授与関係

■認定専攻科に係る教育の実施状況等の審査について

機構が認定した短期大学・高等専門学校の専攻科については、認定又は再審査の結果の通知日の属する年度の次年度の4月1日から、原則として5年後に教育の実施状況等の審査を行い、その後は、原則として7年ごとに審査を行っています。

○平成31年度に実施する教育の実施状況等の審査

平成31年度は、短期大学の認定専攻科のうち3校6専攻が審査対象となっており、該当する認定専攻科を置く短期大学の設置者に、平成31年度に審査を行うことを通知しました。

1 短期大学専攻科【3校6専攻】

	名 称	専 攻	修業 年限	設 置 者
1	青山学院女子短期大学	現代教養専攻	1年	学校法人青山学院
		多元文化専攻	2年	
		子ども学専攻	1年	
2	鶴見大学短期大学部	保育専攻	1年	学校法人総持学園
3	白鳳短期大学	地域看護学専攻	1年	学校法人西大和学園
		助産学専攻	1年	

2 高等専門学校専攻科の対象なし

■特例適用専攻科に係る教育の実施状況等の審査について

特例の適用認定を受けた短期大学・高等専門学校専攻科については、適用認定の通知日の属する年度の次年度の4月1日から、原則として5年以内に教育の実施状況等の審査を行い、その後は、原則として5年ごとに審査を行うこととしています。

○平成31年度に実施する教育の実施状況等の審査

平成31年度は、短期大学の特例適用専攻科のうち7校7専攻及び高等専門学校の特例適用専攻科のうち8校17専攻が審査対象となっており、該当する特例適用専攻科を置く短期大学又は高等専門学校の設置者に、平成31年度に審査を行うことを通知しました。

1 短期大学専攻科【7校7専攻】

	名 称	専 攻	修業 年限	設 置 者
1	札幌大谷大学短期大学部	保育専攻	2年	学校法人札幌大谷学園
2	郡山女子大学短期大学部	文化学専攻	2年	学校法人郡山開成学園
3	日本歯科大学東京短期大学	歯科衛生学専攻	1年	学校法人日本歯科大学
4	山梨学院短期大学	保育専攻	2年	学校法人山梨学院
5	頌栄短期大学	保育学専攻	2年	学校法人頌栄保育学院
6	福岡医療短期大学	口腔保健衛生学専攻	1年	学校法人福岡学園
7	長崎短期大学	保育専攻	2年	学校法人九州文化学園

2 高等専門学校専攻科【8校17専攻】

	名 称	専 攻	修業 年限	設 置 者
1	群馬工業高等専門学校	生産システム工学専攻	2年	独立行政法人 国立高等専門学校機構
		環境工学専攻	2年	
2	木更津工業高等専門学校	機械・電子システム工学 専攻	2年	独立行政法人 国立高等専門学校機構
		制御・情報システム工学 専攻	2年	
		環境建設工学専攻	2年	

	名 称	専 攻	修業 年限	設 置 者
3	東京工業高等専門学校	機械情報システム工学 専攻	2年	独立行政法人 国立高等専門学校機構
		電気電子工学専攻	2年	
		物質工学専攻	2年	
4	富山高等専門学校	エコデザイン工学専攻	2年	独立行政法人 国立高等専門学校機構
		制御情報システム工学 専攻	2年	
		国際ビジネス学専攻	2年	
		海事システム工学専攻	2年	
5	沼津工業高等専門学校	総合システム工学専攻	2年	独立行政法人 国立高等専門学校機構
6	明石工業高等専門学校	機械・電子システム工学 専攻	2年	独立行政法人 国立高等専門学校機構
		建築・都市システム工学 専攻	2年	
7	沖縄工業高等専門学校	創造システム工学専攻	2年	独立行政法人 国立高等専門学校機構
8	サレジオ工業高等専門学校	生産システム工学専攻	2年	学校法人育英学院

機構認定の教育施設（各省庁大学校）の課程修了者への学位授与関係

■教育の実施状況等の審査について

機構が認定した教育施設（各省庁大学校）の課程については、原則として5年ごとに教育の実施状況等の審査を行っています。

○平成31年度に実施する教育の実施状況等の審査

平成31年度は、機構が認定した教育施設（各省庁大学校）の課程のうち、次の1校2課程が審査対象となっています。

（大学の学部に対応する教育を行う課程）

認定課程名	入学定員	修業年限	認定年月日
水産大学校本科	185人	4年	平成3年12月18日

（大学院の修士課程に対応する教育を行う課程）

認定課程名	入学定員	修業年限	認定年月日
水産大学校水産学研究科	10人	2年	平成6年6月23日

評価事業

申請状況について

○平成 31 年度認証評価の申請状況について

平成 31 年度に実施する大学機関別認証評価、高等専門学校機関別認証評価及び法科大学院認証評価について、下記のとおり申請を受け付けました。

	認証評価
大学機関別認証評価	16 校
高等専門学校機関別認証評価	13 校
法科大学院認証評価	1 校

○平成 31 年度大学機関別選択評価の申請状況について

平成 31 年度に実施する大学機関別選択評価について、下記のとおり申請を受け付けました。

大学機関別選択評価は、当機構が独自に行う第三者評価として、大学の希望に応じて大学機関別認証評価とは異なる側面から大学の諸活動等を評価します。

選択評価事項には、選択評価事項 A「研究活動の状況」、選択評価事項 B「地域貢献活動の状況」及び選択評価事項 C「教育の国際化の状況」を設けています。選択評価事項 A 及び選択評価事項 B では、水準判定を加味しつつ、各大学が有する目的の達成状況を中心に評価を実施します。選択評価事項 C では、目的の達成状況の評価に加え、各評価項目の水準について一般的な水準と比較した評価を実施します。

	選択評価事項 A	選択評価事項 B	選択評価事項 C
大学	0 校	0 校	1 校

○平成 31 年度選択的評価事項（高等専門学校）に係る評価の申請状況について

平成 31 年度に実施する選択的評価事項に係る評価について、下記のとおり申請を受け付けました。

選択的評価事項に係る評価は、高等専門学校評価基準とは別に、教育活動と関連する側面からでは十分に把握することが難しい多様な活動状況を評価するため、選択的評価事項 A「研究活動の状況」及び選択的評価事項 B「地域貢献活動等の状況」を設けて、これらの事項の評価を希望する高等専門学校に対して評価を実施します。

	選択的評価事項 A	選択的評価事項 B
高等専門学校	11 校	11 校

質保証連携

質保証人材育成

○「平成 30 年度大学等の質保証に関する機構職員研修」を開催

平成 30 年 9 月 26 日（水）に小平本館にて、平成 30 年度大学等の質保証に関する機構職員研修を開催しました。

当研修は、近年、大学等において重要性が高まっている IR（インスティテューショナル・リサーチ）のデータ分析に関する基礎的な知識を身に付けることで、職員の資質・能力向上を図ることを目的としており、講師として山形大学学術研究院教授の浅野茂氏と同教授の藤原宏司氏を招いて行われました。当日は、当機構の様々な部署から合わせて 17 名の参加がありました。

研修前半では、大学ポートレートセンター事務室による「大学における情報活用ガイドブック」の解説に続き、浅野氏による「山形大学における公開データを活用した IR 業務」と題した事例紹介、藤原氏による「Power Query エディターを用いたデータ形式の変形について」と題した講義が行われました。藤原氏の講義では、BI ツール（Microsoft Power BI Desktop）でデータ分析するための公開データ（大学基本情報）の整形方法について、参加者が実際にパソコンを操作しながら学びました。

研修後半では、評価企画課による BI ツールの操作説明の後、参加者がグループに分かれて簡単な分析レポートを作成し、個々に大学のベンチマーキング分析を行い、分析結果をグループ内で共有・意見交換を行いました。最後に、グループ内で意見交換した内容を会場全体で共有しました。また、評価企画課による「大学基本情報を活用したベンチマーキング例」と題した事例紹介では、具体的なベンチマーキングの視点例を示し、大学基本情報と BI ツールを活用したより発展的な分析事例が示されました。

参加者にとって今回の研修は、大学における IR 業務の実践事例について理解を深めるだけでなく、データ整形と BI ツールの操作を通じて、大学のベンチマーキング分析を意識するきっかけとなりました。



浅野氏による講義



藤原氏による講義



グループワークの様子



参加者による発表

国内外の質保証機関等との連携

○「キャンパス・アジア」モニタリング+にかかる日中韓会合の開催

平成30年9月13日（木）に当機構竹橋オフィスにおいて、今年度から実施の「キャンパス・アジア」モニタリング+に関する実務者会合を開催しました。

「キャンパス・アジア」モニタリングについては、日中韓3カ国の学生交流プロジェクトである「キャンパス・アジア」に対する質保証活動として当機構、中国教育部高等教育教学評価センター（HEEC：Higher Education Evaluation Center of the Ministry of Education）、韓国大学教育協議会（KCUE：Korean Council for University Education）の3カ国の質保証機関が連携し、これまで2回のモニタリングを実施しました。3回目となる今回のモニタリングは、これまでの経験を基に発展的な手法を用いることを踏まえ、名称を「モニタリング+」と改めました。

本会合には、当機構からは長谷川理事をはじめ国際課から計5名、KCUEからは3名、HEECからはテレビ会議システムを利用して3名の関係者が参加しました。会合では、各国におけるモニタリングに関わるこれまでの進捗状況の共有が図られたほか、今後実施予定の書面調査、訪問調査の実施プロセスの確認に加え、最終的に公表される共同モニタリング報告書の構成・様式などについて協議を行いました。共同モニタリング報告書をはじめとする、今回のモニタリングに使用する各文書の様式やプロセスについては、本会合にて当機構の案が中韓側でも了承され、確定しました。

また、本会合では、3カ国の質保証機関間が引き続き進捗状況などを密に報告し合いながら、3機関一体となってこの国際的な質保証プロジェクトを遂行していくことを確認しました。



会合の様子

主要行事日程

○ Schedule

10月

日	行事名	担当課
～4日	平成 30 年度 10 月期学位授与電子申請（データ入力） 受付期間	学位審査課
～5日	平成 30 年度 10 月期学位授与電子申請・郵送申請（書 類送付）受付期間	学位審査課
5日	平成 31 年度から実施する大学機関別認証評価に関する 研修会	評価支援課
10日	大学ポर्टレートステークホルダー・ボード	評価企画課
18日	第 51 回国立大学教育研究評価委員会	評価企画課
22日～ 26日	オーストラリア高等教育質・基準機構とのスタッフ交流 （派遣）	国際課

11月

日	行事名	担当課
9日	学位審査会（平成 30 年度第 3 回）	学位審査課
12日	平成 30 年度人材育成セミナー「IR データ分析ワークシ ョップ（第 1 回）」	評価企画課
18日～ 21日	台湾高等教育評鑑中心基金会とのスタッフ交流（派遣）	国際課

12月

日	行事名	担当課
3日	平成 30 年度大学改革支援・学位授与機構シンポジウム	総務企画課
9日	平成 30 年度 10 月期学位授与試験（面接）（東京地区）	学位審査課
16日	平成 30 年度 10 月期学位授与試験（小論文）（東京地 区、大阪地区）	学位審査課



独立行政法人

大学改革支援・学位授与機構

National Institution for Academic Degrees and Quality Enhancement of Higher Education